



2020-2021
No.1616
2020.8.27

会長：山田 晃 幹事：高橋昭紀
会員数：45 会場出席：29 欠席：16
出席率：64.44% 前々回出席率：80%
点鐘：山田 晃 会長 司会：金井康二 副S A A
ロータリーソング：沼田中央ロータリーの歌（タクト：生方眞司）
例会場：ホテルペラヴィータ 3F 12:30～13:15

来訪ロータリアン

第2840地区ロータリー財団補助金委員長
今井幸吉君（沼田RC）
高崎セントラルRC 酒井次男君

会長の時間

山田 晃 会長



本日は、ロータリーが力を入れているポリオ撲滅について、8月26日付の毎日新聞の記事を紹介します。

世界保健機関(WHO)は25日、アフリカでポリオが根絶されたと宣言した。アフリカでは 2016 年のナイジェリアを最後に新規感染が確認されていなかった。これでポリオが残っているのはアフガニスタンとパキスタンの2カ国となった。WHOのモエティ・アフリカ地域事務局長は「将来世代のアフリカの子供たちが、ポリオウイルスがない場所で生活できる。画期的な出来事だ」と話した。

ところで、会員の皆様はポリオのことをご存じでしょうか。ポリオは主に乳幼児が発症する感染症で、感染すると手足のまひなど後遺症が一生涯残ることがある。主に感染者の便を通じてウイルスが広がり、1940～1950年代には世界中で毎年50万人以上が感染していた。ワクチン接種の普及で患者は減少し、日本では1980年を最後に感染報告はない。

ナイジェリアでは、イスラム過激派組織の活動が盛んで治安が悪い北東部を中心に予防接種が進まず、根絶が遅れていた。ナイジェリアのポリオ対策では日本政府も国際協力機構(JICA)を通じて予防接種の普及を支援しており、2000年以降、約81億円の無償資金協力と約83億円の融資(円借款)を行ってきた。ナイジェリア・プライマリーヘルスケア開発庁のシュアイブ長官は「JICAは、ワクチン調達と機材供与を通じて、(根絶に)大きく貢献した」とのコメントを発表した。

ポリオが全世界で根絶できれば、感染症としては1980年の天然痘に次いで2例目となる。ただ、アフガニスタン、パキスタン両国では、今年も既にそれぞれ数十件の感染を確認。紛争で接種が進まない地域も多く、今のところ根絶の目は立っていない。

また今回、アフリカで根絶が宣言されたのはポリオのうち「野生株」と呼ばれる天然に存在するウイルス。経口摂取した生ワクチンのウイルスが変異して広がる「ワクチン

由来」タイプの感染は、途上国を中心にまれに起きている。参考文献「2020.8.26 毎日新聞」

幹事報告

高橋昭紀 幹事



- ①当クラブの奉仕事業として毎年行われている『ゆうあい作品展』ですが、たけのご学園の園長さんから今年度は中止するとのご連絡がありました。
- ②他クラブの例会変更が届いております。(前橋西RC・前橋中央RC)
- ③エレクトーンについて、度々不具合が出ているため、電子ピアノの購入を理事会にて検討しています。

出席報告

関 美津男 委員



タクト

生方眞司 会員



本日のランチ



第2840地区ロータリー財団補助金委員会 今井幸吉委員長
山田 晃・高橋 昭紀

本日、出前卓話に出向いて下さった今井幸吉さんに感謝申し上げます。

高崎セントラルRCの酒井次男さん、ご苦労様です。

生方 彰

所用の為、出席ができません。メッセージにて失礼いたします。

今日は第2840地区ロータリー財団補助金委員長 今井幸吉様にご来訪いただき、財団並び各補助金のお話を頂けることに心から感謝いたします。

國府田 坦

7/9、スマイル上位協力者として表彰されたのを記念してBox inします。昭和46年入会以来、毎回の50回目の表彰です。

北野 浩司郎

今日は、沼田RCの今井ロータリー財団補助金委員長にお越し頂き、卓話をして頂きます。楽しみにしておりますので、よろしくお願い致します。

小林 照夫

先日、中之条町にある「チャツボミゴケ公園穴地獄」に行ってみました。酸性の水に生育するアジア最大級の群落を形成しているその美しさに感動しました。

原澤 ふじ子

ポリオが、アフリカ大陸より根絶されたとの嬉しいニュースがありました。

新入会員 卓話



武井義明 会員

前任地の草津では、草津ロータリークラブ(現：草津温泉ロータリークラブ)に在籍されていたそうです。

また、群馬銀行の移動店舗車についてご案内がありました。

2020年8月5日より、毎週水曜日に、セキチュー沼田恩田店駐車場で、10:30～12:00と13:00～14:30まで営業しているそうです。

来訪ロータリアン



高崎セントラルRCの酒井次男君より、今年度の『世界大会・台北南門扶輪社訪問4日間の旅』についてご説明がありました。

本日の卓話



第2840地区ロータリー財団補助金委員会
今井幸吉委員長(沼田RC)

《国際ロータリーの使命》

私たちは、他者に奉仕し、高潔性を推進し、事業と専門職務および地域社会のリーダーの間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進する

《財団の使命》

ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を解消することを通して、世界理解、親善、平和を達成できるようにする

ロータリー財団はロータリーの使命を達成するための手段

各クラブの地区補助金申請額

以前の地区補助金の申請額

- 寄付実績に関わらず上限50万円まで申請可能でした。
- 申請額と同額をクラブから拠出する。
- 寄付の貢献度によって0.8～1.2の間で分配された。
- 余剰金は貢献度と申請額で再分配された。

現在の地区補助金の申請額

- 3年前の寄付実績の1/4まで申請が可能。
- クラブの拠出金が無くてもよい。
- 余剰金は寄付実績の割合で再分配する。

第2840地区独自の制約事項

◎原則として例外なく適用される事項

- (1) 地区補助金の活用にも覚書(MOU)にあるクラブの参加資格条件が適用される。
- (2) 1クラブ1プロジェクト申請を原則とする。複数クラブでの共同プロジェクトを申請するときは、クラブ単独での申請はできない
- (3) 地区補助金の申請額は申請クラブの3年前の年次寄付実績額の1/4(円換算)以下とする。
- (4) 3年前の年次寄付実績額の1/4(円換算)の金額が5万円未満の場合は申請額を5万円にすることが出来る。
- (5) 原則として事業実施日を7月1日から次の年の4月30日とします。
- (6) 地区への最終報告書の提出はプロジェクト完了から1か月以内を厳守する。